事務局だより

1. 昭和60年度総会

昭和60年8月29日(岩手大学人文社会科学部における 第52回大会時に同校で開催)

総会議題

- 1. 開会
- 2. 議長選出
- 3. 事業報告
 - (1) 会員異動状況
 - (2) 会費納入状況
 - (3) 常任運営委員会について
 - (4) 公開シンポジウム開催について
 - (5) 機関誌発行について

- 4. 日本学術会議心理学研究連絡会報告
- 5. 心理学諸会間連絡会報告
- 6. 国際心理学記念基金運営委員会報告
- 7. 第51回大会会計報告
- 8. 昭和59年度決算
- 9. 昭和60年度予算
- 10. 学会費値上げの件
- 11. 名誉会員推薦について
- 12. 次期大会開催校挨拶
- 13. その他
- 14. 閉会

昭和59年度決算報告

収	J		支	ļ.	Ц
項目	実 行 額	予 算 額	項 目	実 行 額	予 算 額
前年 度繰越 費 会 年 年 収 度 度 入 名 簿 口座より	388,818 2,355,000 (234,000) (2,121,000) 46,330 100,000	388,818 3,000,000 (550,000) (2,450,000) 50,000	第50分別 機そ 機一い学営 ル立関 年会 3 別 の 誌 じ絡員局イ (編 と 要 要 費 要 き 越 と 要 要 要 要 き か 立 と 要 要 要 き か か と 要 要 要 き か き か か と 要 要 要 き か き か き か か と 要 要 要 き か き か き か き か き か き か き か き か き	400,000 70,000 1,680,030 (1,488,430) (191,600) 358.355 (155,600) (202,755) 37,725 17,450 189,900 204,199 61,500 0 15,000 0 -144,011	400,000 50,000 1,450,000 (1,250,000) (200,000) 500,000 (250,000) 90,000 20,000 100,000 400,000 200,000 20,000 138.818
合 計	2,890,148	3,438,818	合 計	2,890,148	3,438,818

決算報告を承認致しました 昭和60年8月20日

大久保 東秀電 電澤 實 電

昭和60年度予算

			1	,
1	仅	入	支	出
項	目	予 算 額	項目	予 算 額
学 会 過 年 本 年	越 金 費 度 分 度 分 及 7 入	-144,011 2,577,500 (250,000) (2,237,500) 50,000	第 51 回 大 ウ 出	400,000 60,000 1,200,000 (1,000,000) (200,000) 400,000 (200,000) (200,000) 40,000 10,000
<u></u>	計	2,483,489	事 務 局 費 アルバイト費 積 立 金 (名簿) 機関誌編集費 予 備 費	250,000 50,000 0 30,000 43,489 2,483,489

日本応用心理学会第51回大会決算報告

昭和59年9月21·22日 於:富士短期大学

収	入	支	出
本部補助金	400,000	印 刷 費	1,331,000
大 会 参 加 費	1,035,000	通信発送費	529,310
論 文 掲 載 料	444,500	大会運営費	531,600
論 文 集 代 金	571,000	謝金	652,500
懇 親 会 費	150,000	懇 親 会 費	362,670
広 告 料	585,000	会 議 費	181.610
寄 付 金	500,000	事 務 費	84,360
雑 収 入	4,772	維費	17,222
合 計	3,690,272	合 計	3,690,272

【備考】

大会参加者数 正 会 員 243名 (研究発表 123件) 名 誉 会 員 12名 臨 時 会 員 20名 学 生 会 員 124名 招 待 者 26名 (講演・シンポ関係非会員を含む) 合 計 425名 恒例により大会委員長(鬼澤貞教授)を議長として議事に入り、次のような決定を見た。

- (1) 昭和59年度決算について 監査委員の鳴澤 實,大久保康彦両氏の監査を受け,運営委員会ならびに 総会において承認された。
- (2) 昭和60年度予算案について 運営委員会ならびに総会において、原案通り承認された。
- (3) 第51回大会決算について 開催校の富士短期 大学より、運営委員会ならびに総会において報告があった。
- (4) 学会費値上げについて 昭和61年度より学会 費を4500円 (現行3500円) に値上げしたい旨の提案が事 務局よりなされ、運営委員会および総会においてこれを 承認した。
- (5) 名誉会員について 次の3氏が推薦され、満場一致で承認された。 安倍淳吉、 清宮栄一、 村中兼松
- (6) 次期大会(第54回) 開催校について 明治学 院大学において、尾形健教授を大会委員長として行うことに決定した。

2. 常任運営委員会記録(前号迄掲載以降のもの) 昭和60年10月8日

出席者: 尾形, 石毛, 大村, 大脇, 岡村, 太田垣, 神作, 越河, 高嶋, 高橋, 平野, (村井, 土屋)

報告事項:(1)第52回大会終了の報告 (2)第53回大 会準備状況について (3)学術会議関係事項について (4)事務局諸報告

審談事項: (1) 常任運営委員補充人事の件 (2) 第54 回大会開催校の件 (3) 新入会員審査

昭和60年12月6日

出席者:尾形,鬼澤,大村,奥沢,恩田,太田垣,越河,高嶋,高橋,平野,正田,松村(村井,土屋)

報告事項: (1) 第52回大会終了報告 (2) 第53回大会 準備状況 (3) 諸学会間連絡会について (4) 国際応心 大会関連事項 (5) 事務諸報告(産業・組織心理学会発 会(11月15日)に伴い,関連学会会長に顧問就任の要請 があり,本学会でも受諾)

審議事項:(1)「心理技術者処遇改善」の件(他学会の対応等について協議) (2)会費長期滯納者の件(3年以上の96名に督促) (3)常任運営委員補充人事の件(名誉会員として3氏が抜けた分の補充は行なわない)(4)第54回大会開催校の件(日本大学三島校舎に依頼することに決定) (5)「応心ミニ通信」発行の件(速報性のある通信を出したいとの事務局提案につき,今後の財政状態を見た上で年度の当初予算に組んで実施することとする) (6)新入会員審査

昭和61年1月28日

出席者:尾形,石毛,大塚,大脇,奥沢,恩田,太田垣,神作,越河,高嶋,中村,長谷川,森(村井,土屋)

報告事項:(1)第53回大会準備状況 (2)諸学会間連絡会の件 (3)長期会費滯納者への督促結果について (4)事務局諸報告

審議事項: (1) 活性化小委員会懸案事項の件(昨年6月の報告書をさらに具体策に結びつくよう検討) (2) 新入会員審査 (3) その他(臨教審の件につき話題提供あり)

出席者:尾形,大塚,大脇,岡村,奥沢,太田垣,神作,越河,斉藤,高橋,中村,長谷川,平野,正田,宮本,森(村井,土屋)

報告事項: (1) 第53回大会準備状況について (2) 学 術会議心研連関連事項 (3) IAAP 日本大会 (1990年) 関連事項 (4) 事務諸報告

審議事項:(1)「活性化小委」報告事項の件 (2) 新 入会員審査

昭和61年4月25日

出席者:尾形,大脇,太田垣,斉藤,高橋,中村,永 丘,長谷川,平野,正田,宮本(村井,土屋)

報告事項:(1) 諸学会問連絡会 (2) IAAP 大会 (1990) 関連事項(4月3日,学術会議心連科学研と行動 研連委員で日心会員である者21名による打合せ会が開かれ,本学会より斉藤委員が出席した。日心がホスト学会となることはできないが,今後日心が窓口となって組織 委員会か実行委員会ができる模様である) (3) その他「集団精神療法点数化に関する要望書」のコピーが参考資料として松村委員より提供あり)

審議事項:(1)「活性化小委」関連事項の件(賛助会員を積極的に募ることにしたい) (2)昭和61年度公開シンポジウムの件(テーマにつき諸案が出されたが、「青少年の自殺」と決定) (3)新入会員審査 (4)昭和62年度大会、日大三島校舞(関忠文教授)より開催辞退の件(3月下旬、関教授が入院の為、辞退したい旨の申し入れがあった。これにつき協議の結果、新潟大学を第1候補として開催を依頼することに決定)

昭和61年5月27日

出席者:尾形,石毛,大村,大脇,岡村,奥沢,恩田,越河,高嶋,中村,永丘,宫本,森(村井,土屋)

報告事項: (1) 第53回大会準備状況 (2) 第54回大会 開催校(新潟大学) について(正田委員を通じ交渉の結 果,長塚康弘教授(本学会運営委員)を委員長として開 催することを受諾) 審議事項:(1) 賛助会員募集の件(2) 公開シンポジウムの件(恩田彰委員を司会者とし,「青少年の自殺」のテーマで行う。シンポジストの交渉も完了。)(3) 新入会員審査(4) その他(①常任運営委員任期中に名誉会員になった方の委員会出席をどう扱うか,他の名誉会員の委員会出席についても考えてみてはどうか,という発言が二三の委員よりあり,次回再協議する②「日本相談学会認定カウンセラー制度」に関する資料が平野委員より提供あり全員に配布)

昭和61年7月5日

出席者:尾形,大村,大脇,奥沢,恩田,太田垣,神作,越河,斉藤,高橋,中村,西岡,長谷川,平野,正田,松村(村井,土屋)

報告事項:(1)第53回大会準備状況について (2)その他(公開シンポジウムが盛況裡に終了した旨,司会者の恩田委員より報告あり)

審議事項:(1) 昭和60年度決算の件(承認) (2) 昭和61年度予算の件(承認) (3) 賛助会員募集の件(依頼文審議,1日3万円として会則改正の手続をとる) (4) 名誉会員の常任運営委員会出席の件(オブザーバーとして出席いただくよう年度初めに案内する) (5) 名誉会員推薦の件(会長,事務局長経験者に一任) (6)

3. 一般活動状況。事務諸報告

新入会員審查

- (1) 第52回大会(昭和60年8月29,30日,岩手大学人 文社会科学部,大会準備委員長鬼澤貞教授)において開 催,盛会裡に終了)
- (2)「応用心理学研究第10号」が出来上り、会員および 関係機関に送付(昭和60年9月)
- (3) 昭和61年度公開シンポジウムは,恩田彰常任運営委員を司会者として開催(『青少年の自殺』,於日本大学文理学部,昭和61年7月5日)約200人の出席があり盛会裡に終了(内容は,機関誌第12号に掲載予定)。

4. 第25回大会発表状況

(昭和60年8月29,30日,岩手大学,大会委員長鬼澤貞 教授)

出席者 正 会 員 273名 個別発表 156

臨時会員 42名

学生会員 2名

計 317名

懇親会出席者 103名

発表取消者

第1日(8月29日)午前C室

5 20答法と人物画に関する研究

横浜市中央児童相談所 ○高 橋 秀 和 城西女子短期大学 藤 田 主 一

6 FCT (Family Construction Test) の位置について

第1日(8月29日)午前D室

7 Gestalt Awareness Training (気づき訓練) の試み (3)

千葉県市川児童相談所 前 田 茂 則 第2日(8月30日)午前B室

1 「職業と女性の人生」をテーマとしたグループワー クが女性の職業選択に与える影響について

津田スクールオブ・ビジネス 西 河 正 行 第2日(8月30日)午前C室

10 教育心理学の講義効果の分析

文教大学 稲 越 孝 雄 第2日(8月30日)午前G室

2 消費行動と心理的特性

京都府消費生活科学センター 杉本千代子

5. 新入会員,退会者(前号掲載分以降の分,順不同) 新入会員

行場次朗・三好隆史・伊藤太平・山本寛・大塚健樹・稲田幸男・瀧上凱令・外島裕・清水加代子・東内伸・坂柳恒夫・小野章夫・松尾ミョ子・橋本治・内田幸彦・渡辺洋一・渡辺成夫・西川隆・長崎拓士・作道信介・畑山俊輝・大山正博・秋山赴久・長塚恭一・茂呂慎一・箕浦光・高橋由美子・田名場忍・田中香織・竹中小百合・高澤則美・高澤和彦・大沢美枝子・木村進・大野照美・岡和夫・吉本幸司・外村近・山田良子・箱田裕司・小泉滋子・久慈洋子・川辺譲・渡辺美保子・鈴木康美・園田雅代・重永幸男・関陽子・安部保子・安木博臣・中西悦子・岸本英爾・花田百造・森口訓孝

退 会 者 (会費長期滞納者を含む)

川本恵子・東野良一・堀耕治・赤塚泰三・三橋由希子・江澤郁子・山崎純・松本蕃・安田春弥・市川定三・石田幸平・加藤高教・武井槇次・菊地清勝・山口年広・井上正明・山口浩・三浦庫蔵・北野博子・佐藤誠・城栄子・田中正一・水田恵三・松尾恒子・千々岩栄彰・橋本寛・蓮江俊夫・林宏子・古屋力・原ひろ子・飯野俊尾・飯塚銀次・飯塚雄一・乾治雄・井口真理子・石原康久・井上洋一・加藤真一郎・川崎徹・石郷岡泰・木幡豊・小出太美夫・小地真敬・牧正興・児玉昌久・松岡正明・升森靖介・丸山晋・水鳥川洋子・増田末雄・水川明美・向田顕彦・村尾園子・望月昭・水村孝・森川泰寛・森津誠・

両角智・長尾勲・用田宗人・内藤忠昭・中村太郎・中野 明徳・中迫勝・永山由紀・西方栄・新田泰生・西川淳司 ・大城一義・中住孝典・永野光朗・佐々間春夫・桜井正 孝・佐野暢紀・佐藤哲男・大滝ミドリ・塩田芳久・白石 秀人・須藤智子・鈴木睦夫・清水隆善・高山靖子・妻倉 昌太郎・土屋由美子・辻孝司・寺崎裕志・外山通夫・内 田正博・内山芳賢・内山三郎・上野容子・渡辺朝美・藪 原晃・宮川知章・山口育夫・谷戸誠・山村武彦・横井雄 一・吉田俊郎・能方恭子・楊瑞蘭・千葉忠吉・栄久庵祥 二・遠藤徹・池上喜八郎

6. 寄贈文献 (前号掲載分以降のもの)

学会事務局に、つぎのような雑誌等が寄贈されておりますのでご利用下さい。

<定期刊行物>

社会福祉学部研究報告(愛知県心身障害者センター) 1985, No. 10~

テレビ・ラジオ番組視聴率調査

1985, 6月~

放送研究と調査(NHK 放送文化調査研究所)

1985, Vol. 35, No. 4 ~

母子保健情報 (恩賜財団母子愛育会)

1985, Vol. 11~

科学警察研究所報告・交通編(科学警察研究所)

1985, Vol. 26 No. 1 ~

科学警察研究所報告・防犯少年編(科学警察研究所)

1985, Vol. 25, No. 2 ~

科学警察研究所年報(科学警察研究所)

1985.

生活心理分析 (GAUSS 生活心理研究所) 1985, Vol. 37~

関係学研究 (関係学研究編集委員会)

1985, Vol. 13, No. 1 ~

IATSS Review (国際交通安全学会)

1984, Vol. 11, No. 2 ~

IATSS Research (国際交通安全学会)

1985, Vol. 9 ~

雇用職業総合研究所年報(雇用職業総合研究所) 1984.

雇用職業研究 (雇用職業総合研究所)

1985, No. 23∼

鉄道労働科学(日本国有鉄道労働科学研究所)

1985, Vol. 39∼

オレンジレポート (NTT 広報部)

1985, No. 7 ~

テレトピア (NTT 広報部)

1985, No. 4 ~

基礎心理学研究(日本基礎心理学会)

1985, Vol. 3 No. 2 ~

指導と評価(日本教育評価研究会)

1985, Vol. 31, No. 5 ~

人事試験研究(日本人事試験研究センター)

1985, No. 115~

進路指導研究(日本進路指導学会事務局)

1984, Vol. 5 ~

スポーツ心理学研究(日本スポーツ心理学会)

1984, Vol. 11, No. 1 ~

化粧文化 (ポーラ文化研究所)

1985, No. 12~

産業安全研究所年報(労働省産業安全研究所) 1984.

音楽療法研究年報(日本音楽心理学音楽療法懇話会) 1984, Vol. 13~

沖中記念成人病研究所年報(沖中記念成人病研究所) 1985, Vol. 11~

国立身体障害者リハビリテーションセンター研究紀要 (国立身体障害者リハビリテーションセンター) 1985, Vol. 6~

人文学研究所報 (神奈川大学人文学研究所)

1984, Vol. 18~

人文研究(神奈川大学人文学会)

1985, No. 92~

臨床心理学の諸領域(金沢大学心理学研究室)

1985, No. 4 ∼

筑波大学心理学研究(筑波大学心理学系)

1986, No. 8 ~

東京大学教育部紀要 (東京大学教育学部)

1985, Vol. 24~

名古屋大学教育学部紀要(名古屋大学教育学部教育心 理学教室)

1985, Vol. 32~

明星大学心理学年報 (明星大学心理学研究室)

1985, Vol. 3 ~

早稲田大学システム科学研究所年報(早稲田大学シス テム科学研究所)

1985, Vol. 16~

早稲田心理学年報(早稲田大学文学部心理学会)

1985, Vol. 17∼

東京学芸大学紀要・第1部門教育科学(東京学芸大学 紀要出版委員会)

1985, Vol. 36~

心理学関係研究文献資料集(岐阜大学教育学部心理学

研究室附属カリキュラム開発研究センター)

1984, No. 148~

山梨大学教育学部研究報告(山梨大学教育学部)

1985, Vol. 35~

特殊教育研究施設報告(東京学芸大学教育学部附属特

殊教育研究施設)

1984, Vol. 34~

RIEEC (同上)

1984, Vol. 21~

<図 書>

鶴田正一先生研究著作選集,

鶴田先生退職記念事業会

消費トレンドウォッチング

油谷遵 PHP 研究所 ニュー・幼児の健康

岡本善之・柴若光昭(ぎょうせい)

心の内と外:心理学の諸相

石田雅人・大淵憲一(編) 勁草書房 脱男性の時代

渡辺恒夫 勁草書房

自己変革と組織の活性化 CST のすすめ

上野矗・清水増三・有斐閣

中小地方都市における高齢者の運転特性と交通計画上 の課題

神作博 高齢化社会に向けての交通問題研究会

7. 訃報

次のかたがたがお亡くなりになりました。謹しんでご 宴福をお祈り致します。

舟木哲朗, 永丘智郎, 中村允子, 高橋勇吉

附記 故永丘智郎会員(1961年7月6日, 脳出血で急逝)は、本学会の発足当時より関係なされ、1971年から1972年にかけては会長を務められました。また永く運営委員、常任運営委員を歴任されました。